

※ 考生請注意：本試題不可使用計算機。 請於答案卷(卡)作答，於本試題紙上作答者，不予計分。

**題1**：下記の引用文をわかりやすいマンダリンに訳してください（30%）

「・・・之等の採茶戯、車鼓戯、歌仔戯と雖も、臺灣獨特の演劇形式であるとは謂へ、その内容に於ては必ずしも、支那演劇のそれに優つてゐたとは謂へない。否むしろ内容に於て低下さへしてゐたと言つた方が適切かも知れない。島民の出稼的根性は安直な、そして官能的な享樂を求め折角芽生え様とした臺灣獨特の演劇を、低下せしめたのである。

その後臺灣演劇は、民衆生活の殆どすべてを支配してゐたと言つても過言でない。信仰的迷信と結びつき、更に錯綜極りない状態を現出し、終に臺灣統治上有害なりとして、事實上禁止の状態にさへなつたのである。

近時、從來の支那思想的な演劇を離れ、新生臺灣に相應しい新演劇を勃興せしめようとする臺灣新劇運動が擡頭し、漸く大衆の間に浸潤して來たとは謂へ、真に東亞の諸民族を指導し得る、雄渾且高雅な國民演劇を確立する我國の演劇運動と肩を列べるには、まだまだ前途遼遠である。」

—竹内治「臺灣の在来演劇」、  
『文藝臺灣』第五卷第一號所収、1942年、53頁より—

**題2**：下記の引用文をわかりやすいマンダリンに訳してください（30%）

近代日本の国語辞典上における「民族」の語の成立事情を見てみよう。近代の国語辞典の編纂作業とは、一国言語の一国的な公共性の認定作業であり、また当代における言語表現なり使用語彙を「国語」として、その公共的使用を認定する作業でもある。したがって国語辞典に登録されることによって、はじめてその語彙の公共的な成立をいうことができるのである。・・・

ここでまず「人民の種族」とあるのは、「民族」という漢語の語彙的成立事情を説明している。「民族」とは「人民」とその「種族」から合成された語彙だということである。「民族」の同意語として「民種」があるのも同じ事情によることだろう。・・・

・・・人類学的な人種的差異への視点は近代日本に早く受容され、「人種」概念はすでに辞書上に構成されているのである。これからすれば「人民の種族」という種族的「民族」概念の成立は、「人種」概念の成立からそう遠く隔たることはないとみなされる。・・・

—子安宣邦『日本ナショナリズムの解説』、  
白澤社、2007年、133～134頁より—

**題3**：下記の引用文を読んだ上で質問に答えてください（40%）

日本から台湾へのコンテンツが非常に豊富なのに対し、逆方向、台湾から日本へはと考えると寂しいというか、愕然としてしまう。

編號： 29

# 國立成功大學 109 學年度碩士班招生考試試題

系 所：台灣文學系

考試科目：外文文學文獻解讀（日文）

考試日期：0210，節次：4

第 2 頁，共 2 頁

放送されているドラマやバラエティ番組、ヒットした小説やコミックに映画、プロ野球チームの名前……これらを日本の人たちが広く知るまでには至っていない。『カルチャー貿易不均衡』はなかなかのものだ。

コンテンツが届かない背景の一つには、供給源となる翻訳者が十分でない、という現実がある。

.....

実は台湾作品の翻訳にはもう一段、ハードルがある。通常、日本で学ぶ中国語は中国で用いられる「簡体字」と呼ばれる表記法やピンインという音声表記、語彙をベースにしており、台湾で使われる「繁体字」や音声表記とは異なる。また台湾には「台灣語」という言語の存在がある。台灣語は中国語とは音韻体系が異なり、標準化された文字体系を持たないため、一般的には「中国語より難易度が高い」と言われている。にもかかわらず、台湾作品には、この台灣語の語彙や表現が頻繁に用いられる。台湾語の他にも、先住民族の言語なども含めて考えると、台湾作品の翻訳は、中国語ができるだけでは十分と言えないのだ。

問題は翻訳者だけではない。出版社の側に、中国語なり、台湾作品に対する理解がなければ、企画さえ通る可能性はぐんと低くなる。数え上げればきりがないのだが、つまるところ、台湾に対する情報量の差は、コンテンツ供給のあり方に大きく影響する。

一田中美帆「訪日台灣人は『寅さん』のように日本中を旅行？  
日台の文化交流に必要なもの」、  
『YAHOO!Japan ニュース』、2019 年 12 月 27 日付より抜粋

問：引用文中台日間の「カルチャー貿易不均衡」とあるが、著者が挙げた具体的な例を除けば、まだどれくらい異なる範囲や領域でも起こっているのかを示してください。このような「不均衡」は日本以外にも、台湾と別の国との間でも生じるとすれば、少なくとも一つの国を例にして、その理由や背景は台日間のと如何に異なるのかを述べてください。それに、日本においての「台湾コンテンツ」が不足している理由として、著者は翻訳や情報量にかかるものとしているが、それは今日のグローバリゼーション状況にも如何に関係しているのか。マンダリンないし日本語を用いて、知っているかぎり簡潔に説明してください。